

# 心材腐朽が多い熱帯の湿地林で 木の成長特性を考える

オンライン  
(zoom)開催

ご登録はこちら

参加費  
無料

2025年12月24日(水) 12:30~



門田 有佳子

生存圏研究所  
非常勤研究員Associated  
Mission

・Mission4

循環材料・環境共生システム

Keyword

- ◇ 心材腐朽
- ◇ 樹洞
- ◇ 熱帯泥炭湿地林
- ◇ 木の成長

一般的に、貧栄養な環境に成立する木は樹高が低く、成長速度が遅くなる半面、病害虫などからの攻撃に対する防御力を高めます。東南アジアのマレーシアとブルネイには、貧栄養な泥炭土壤に *Shorea albida* が優占する熱帯泥炭湿地林が成立しています。この森林では、多くの大木で幹に樹洞(うろ)があり、幹折れも頻発しています。樹洞の原因の一つである心材腐朽は、ストレスの多い環境で、防御力が落ちた劣勢木や老齢木に多いと考えられてきました。では、樹洞のある *S. albida* 達は瀕死の状態なのでしょうか？現地で計測した樹洞木の形態的な特徴から、これらの木の成長特性に関する仮説を紹介します。



定例オープンセミナーは、生存圏の様々な研究を相互に理解すべく、ランチタイムに気軽に行っている講演会です。＊不定期水曜日開催

[https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/open\\_seminar\\_2022/](https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/open_seminar_2022/)お問い合わせ 京都大学生存圏研究所定例オープンセミナー事務局  
TEL : (0774)38-4609